

「これからの食料生産」

(6時間扱い)

授業者 鎌田 尚吾

1. 《単元について》

目標： 日本の食料生産が抱えている問題を調べ、食料を安定的に確保する必要性やこれからの食料生産のあり方について考えることができる。

食料自給率 39% (カロリーベース) である日本。しかしながら、日々の生活では食料に困ることは皆無に等しい。「米づくり」、「水産業」で人々の工夫や努力、苦労を学んだ子供たちに日本の食料自給率の低さ、輸入依存度の高さを提示し、問題意識を醸成する。

本単元では、食料生産や食生活にかかわる課題を解決していく。その際、輸入そのものが問題ではなく、安全性が確認できない場合や国内生産とのバランスが損なわれてしまう場合が問題であるという認識をもてるようにし、輸入食材のおかげで現在の自分たちの豊かな食生活が成り立っていることも捉えさせたい。単元テーマについて考えることで、今後の食料生産や食生活への関心を高める単元にしていく。

また、子供自身で必要な資料を選択し、それを根拠に自分の考えを明らかにしたり、説明・交流したりするよう促しながら資料を効果的に活用する力を育みたい。

2. 《社会科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意・態度等に関わるもの (どのように社会、世界と関わりよりよい人生を送るか)
第五学年	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土や産業の様子、国土の環境や産業と国民生活との関連についての理解。 社会的事象の的確な調査や地図、地球儀、統計などの各種の基礎的資料の活用など、必要な情報を集め、読み取り、まとめる技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象から学習問題を見だし、見通しをもって意欲的に追究したり、振り返ったりする力。 社会的事象の意味について位置や空間的広がり、時期や時間的経過、事象相互、立場相互の関係に着目し、多角的に思考・判断・考察する力。 国民の生活と関連付けて自分の考えを論理的に説明・主張したり、他者と課題解決に向けて話し合ったりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて自分たちにできることを選択・判断し、よりよい社会を構想する力。 国土の環境の保全と自然災害の防止の重要性についての関心。 産業の発展や社会の情報化の進展についての関心。 国土に対する愛情 協同の価値や学んだことの成果等の自覚。

3. 《育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準》

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等情意・態度等に関わるもの (どのように社会、世界と関わりよりよい人生を送るか)
<p style="text-align: center;">評価 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食糧生産の現状や課題を捉え、食料を安定して確保していくことの大切さを理解している。 食料輸入量の変化や自給率の低さなど、日本の食料生産の現状や課題について、グラフや資料から適切に読み取っている。 	<p style="text-align: center;">評価 2</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの食料生産のあり方や、安定して食料を確保していくうえで不安な点や大切な点について説明したり、話し合ったりしている。 	<p style="text-align: center;">評価 3</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食料生産が抱えている問題を意欲的に追究し、これからの食料生産や食生活のあり方について関心をもっている。

4. 《研究とのかかわり》

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈のある単元を構想する。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある単元を構想する ～単元のグランドデザイン～

	単元開始期		単元展開期	単元まとめ期
	1	2	3・4・5	6
学習問題	日本の食料生産には、どのような問題があるの？	みんなでどのように調べたり考えていけばいいだろう？	レッツ調査！	未来の食を守るために、必要なことってなんだろう？
開始期	輸入ができなくなった場合の食品の減少や日本の食料自給率について知る。 食料自給率39%!	それぞれの疑問や問題意識をグループで交流し、全体で単元テーマ、学習計画を設定する。	振り返りを交流し、本時の学習活動を見通す。 食料生産にかかわる問題や疑問について調べる。 未来の食を守るためにすること、これから大切にしていこうと考える。 グループで資料を読み取ったり、考えを交流したりする。	食料生産にかかわる課題や未来の食を守るためにについて交流する。
展開期	日本の食料生産の現状や問題について考える。			
まとめ期	考えた問題や疑問を記入し、単元のテーマに生かす。	【単元テーマ】 未来の食を守るために！ 学習を振り返り、自分の考えをまとめる。 ・学習の成果の実感 ・協同の価値の実感 ・自己の成長、変容 ・次時やこれからの生活への期待や見通し		テーマに対する考えを交流する。

必要感のある協同的な学び

目的に応じた弾力的な振り返り

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

- 単元テーマの設定と主張を交流・議論する場

単元の導入において、子供たちの疑問を集約した単元を通じた課題として「単元テーマ」を位置付ける。子供たちの課題意識と密接して設定することで、集団追究への意欲を高めるとともに、単元まとめ期にそれぞれの考えを知りたい・伝えたいという相手意識を醸成することができる。

- 協同性や多様性がある調査活動

単元テーマに迫るために、子供自身が調べる活動を設定する。立場や視点を明確にししながら、資料を選択・収集したり、複数を比較したり関連付けたりして読み取ったりできるように、子供自身の学習計画に合わせて交流や確認の活動を行う。

(3) 目的に応じた振り返りを弾力的に設定する

- 学習の成果や協同の価値、自己の成長、変容の実感

これらの学びの価値に子供自身が迫るために、その時間の活動を振り返る。その際、視点を絞ったり、交流を促したりしながら、自己評価・相互評価に生かす。

- 次の学習に対する自分の考えにより、単元テーマへのつながりを生む

振り返りでは、単元テーマや次の学習の見通しについても記入させる。授業の終わりやはじめに振り返りを交流し、連続的・継続的な学びをより充実させていく。

5. 《単元計画》

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>開始期 (1・2時間目)</p>	<p>学習活動 (○) と子供の姿</p> <p>【1時間目】 農業や水産業を振り返ろう！ ○ これまでの農業や水産業の学習を振り返り、共通点を探す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国民の食生活を支えてくれている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">土地の自然条件や特色を生かしている。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時代とともに変化してきている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かかわる人たちは工夫し努力している。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">かかわる人たちには苦労や悩みもあった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">外国から輸入されているものも増えている。</div> </div> <p style="text-align: center;">日本の食料生産にはどのような問題があるの？</p> <p>○ 輸入ができなくなったら食品にどのような影響が出るかを考える。</p> <div style="text-align: center;"> <p>輸入あり 輸入なし</p> <p>食卓からいるいるなものが消える！？ 日本の食料自給率39%!</p> </div> <p>○ 日本の食料生産における現状や問題について考える。 ○ 学習の振り返りをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ふだん食べているものを調べてみたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品によっても自給率にちがいがあ。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">もっと高いと思っていた。39%の理由は？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">こんなに輸入に頼っていたんだね。</div> </div> <p>【2時間目】 ○ 日本の食料生産における現状や問題、それぞれの疑問点や危機感、予想をもとに、単元テーマと学習計画を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>みんなでどのように調べたり考えていけばいいだろう？</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安全性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境面</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">品質</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食文化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安定性</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>【単元テーマ】 未来の食を守るために！</p> </div> <p>○ 問題、疑問をもとに学習計画を考える。 ○ 学習の振り返りをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな食料に携わる生産者について調べたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消費者として何かできることがあるはずだ。</div> </div>	<p>教師の支援 (☆) と評価 (◇)</p> <p>☆ これまでの学習を振り返ることができるよう、掲示物やノートに着目するよう促す。</p> <p>☆ <u>学習の成果を振り返り、共通点について吟味することができるように、個人の考えをグループでまとめてから全体で交流する。【必要感のある協同的な学び】</u> <u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>☆ 現状との違いを浮き彫りにするために、輸入なしの場合の変化や日本の食料自給率について予想する場を設定したり、資料の提示を工夫したりする。</p> <p>☆ 輸入食材のおかげで現在の自分たちの豊かな食生活が成り立っていることに気付くように、輸入のマイナス面だけでなく、プラス面についても確認する。</p> <p>◇ 日本の食料自給率が39%であることから、疑問をもったり、今後の学習やこれからの食料生産のあり方について関心をもって考えたりしようとしている。 評価3</p> <p>☆ <u>今後の学習や次時の単元テーマを設定することへの意識を醸成するために、疑問や予想、思い、調べたいことを記入するよう促す。</u> <u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>◇ 自分の疑問や予想、思いを今までの学習と関連付けたり、生活と結び付けたりしながら話すことができる。 評価2</p> <p>☆ <u>抱いた疑問や思い、予想と根拠を話したり把握したりすることができるように、全体の前にグループによる活動・交流を設定する。</u> <u>【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>☆ <u>今後の学習に対して、共通して解決する意欲を高めるために、単元テーマとともに学習計画(調べること、考えること)を設定する。</u> <u>【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>☆ <u>今後の学習に生かせるように、単元テーマに対する現時点での自分の考えや必要な資料などについて記入させ、交流させる。</u> <u>【必要感のある協同的な学び】</u> <u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
展開期 (3～5時間目)	<p>【3時間目】</p> <p>○ 資料を収集したり読み取ったりしながら、単元テーマについての自分の考えをまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 安全性 環境面 品質 食文化 安定性 </div> <p>いろいろな食料を作れば 品質で選ぶ?</p> <p>日本では、作ることができない食品がある? 他国の方が安くなった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;"> 食料別自給率 大規模農業 </div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">生産者</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">消費者</div> </div> <p>農業・水産業従事者推移 耕地面積の変化 食料の値段の比較 食料消費量の変化</p> <p>生産者が減り、生産量が減った? みんなの食生活が変わった?</p> <p>生産量を増やせば 食生活を変えれば 人・環境に優しい食料生産は?</p> <p>○ 学習を振り返る。</p> <p>ただいっぱい作るだけではだめ。どんな工夫が必要だろうか? 今の生活を変えるのは難しいし、いろいろな人の協力がほしいと…。</p>	<p>☆ 携わる人の減少や他の国に頼っている食品にも目を向けられるように、これまでの農業・水産業の学習や「産地マップ」も手がかりにするよう促す。</p> <p>◇ 日本の食料生産にかかわる現状や輸入に頼ることへの影響について資料から適切に読み取ることができる。【評価1】</p> <p>☆ 資料の読み取りを深められるように、必要に応じて選んだ資料から読み取ったことや考えたことを交流したり、確認したりする場面を設定する。 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 今後の学習に生かせるように、単元テーマに対する自分の考えや次時の見通しを記入させ、交流させる。 【必要感のある協同的な学び】 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p> <p>◇ 日本の食料生産がかかえている問題やこれからの食料生産のあり方について追究している。【評価3】</p> <p>☆ 自分の考えをまとめられるように、必要に応じて選んだ資料から読み取ったことや考えたことを交流したり確認したりする場面を設定する。 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 今後の学習に生かせるように、単元テーマに対する自分の考えや今までの生活を振り返って思うことを記入させる。 【必要感のある協同的な学び】 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>
	<p>【4・5時間目】</p> <p>○ 資料を収集したり読み取ったりしながら、現状(原因・影響)や改善・解決策について考える。</p> <p>日本のものを選んでもらう取組も必要だね。消費者にもできることがある。</p> <p>○ 学習を振り返る。</p> <p>次の時間でいろいろな意見を聞きたい。たくさんのことを話し合いたい。</p>	<p>☆ 学習の深まりをもとに自分の考えを主張したり、お互いに議論したりできるように、単元テーマを追究し、表現する場を設定する。【必要感のある協同的な学び】</p> <p>◇ これからの食料生産のあり方や、安定して食料を確保していくうえで不安な点や大切な点について説明したり、話し合ったりしている。【評価2】</p> <p>☆ 自分の考えを説明したり、話し合ったりできるように、必要に応じて整理したり置き換えて問い直したりする。</p> <p>◇ これからの食料生産や食生活のあり方についてまとめ、自分の生活を見直すことができる。【評価3】</p> <p>☆ 単元を通じた最終的な自分の考えを書くことができるように、他の考えを聞いて考えが変わってもいいことを伝える。 【必要感のある協同的な学び】 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>
まとめ期 (6時間目)	<p>【6時間目】</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【単元テーマ】 未来の食を守るために!</p> </div> <p>○ 考えを交流する。</p> <p>農作物生産や養殖漁業を進めればいい。消費者の一人一人の意識を変えればいい。</p> <p>今・将来できることは?</p> <p>まずは食べ物を大切にしたい。学んだことをいろいろな人に伝えたい。</p> <p>生産者と消費者とつながる工夫も必要だ。地産地消を心がける。</p> <p>○ 本時や単元の学習を振り返る。</p> <p>自分の食生活を見直すことができた。学んだことを家族にも伝えたい。</p>	<p>☆ 学習の深まりをもとに自分の考えを主張したり、お互いに議論したりできるように、単元テーマを追究し、表現する場を設定する。【必要感のある協同的な学び】</p> <p>◇ これからの食料生産のあり方や、安定して食料を確保していくうえで不安な点や大切な点について説明したり、話し合ったりしている。【評価2】</p> <p>☆ 自分の考えを説明したり、話し合ったりできるように、必要に応じて整理したり置き換えて問い直したりする。</p> <p>◇ これからの食料生産や食生活のあり方についてまとめ、自分の生活を見直すことができる。【評価3】</p> <p>☆ 単元を通じた最終的な自分の考えを書くことができるように、他の考えを聞いて考えが変わってもいいことを伝える。 【必要感のある協同的な学び】 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>

本時

まとめ期
(6時間目)

6. 《本時案》（本時 6/6）

本時の目標

食料生産にかかわる現状や原因，課題を踏まえ，自分の生活とも関連させながら，これからの食料生産や食生活のあり方について考えたり，話し合ったりすることができる。

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期	<p>○ 今までの学習を振り返り，単元テーマや本時の学習について確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【単元テーマ】 未来の食を守るために！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>未来の食を守るために必要なことはなんだろう？</p> </div>	<p>☆ <u>本時の学習に生きるように，今までの学習を掲示物・子供のノート等から振り返る。【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p> <p>☆ <u>学習の深まりをもとに自分の考えを伝えたり，話し合ったりできるように，単元テーマを追究し，表現する場を設定する。【必要感のある協同的な学び】</u></p>
展開期	<p>○ 考えたことについて，交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安全性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境面</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">品質</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食文化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安定性</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">農作物生産や養殖漁業を進めればいい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">食生活を少しずつ変えるべきだ。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">人や環境に優しい食料生産をする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">生産者のことも考えていく。</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>生産者 消費者</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">水産資源も守らなくては。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">地産地消を心がける。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">輸送距離を短くし，新鮮で環境にも優しく。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">輸入品ゼロはすぐには無理だけど...</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">生産者と消費者とつなぐ工夫も必要だ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">少しずつ食料自給率も上がりそうだね。</div> </div>	<p>☆ <u>多くの考えや根拠に触れることができるように，必要に応じて小交流や自由交流の場を設定する。【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p>◇ これからの食料生産のあり方や，安定して食料を確保していくうえで不安な点や大切な点について説明したり，話し合ったりしている。【評価2】</p> <p>☆ それぞれの考えが明確になるように，必要に応じて根拠となった資料について説明するよう促したり，置き換えて問い直ししたりする。</p>
まとめ期	<p>○ 今の自分や将来の自分にできることを考える。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">まずは食べ物を大切にしたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">地元のをたくさん食べたい。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">これからも食料自給率に関心を持ちたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">選んで買えるように。</div> </div> <p>○ 本時や単元の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">自分の食生活を見直すことができた。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">学んだことを家族にも伝えたい。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">みんなで話し合ってたくさんわかった。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">これからも安心して食べられるように。</div> </div>	<p>◇ これからの食料生産や食生活のあり方についてまとめ，自分の生活を見直そうとすることができる。【評価3】</p> <p>☆ <u>単元を通じた最終的な自分の考えを書くことができるように，他の考えを聞いて考えが変わってもいいことを伝える。【必要感のある協同的な学び】</u></p> <p><u>【目的に応じた弾力的な振り返り】</u></p>